家庭科教育研究会

部　　長　　千　田　道　子
研究主任　　吉　田　ゆかり
部 員 数　　２０名

## １　研究主題

知識・技能の確かな定着と生活に活かせる実践力の向上
～「家庭で生かす」「次に生かす」授業づくりを通して～

## ２　はじめに

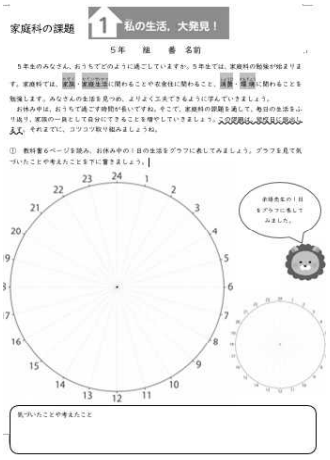
本研究会では、家庭科の授業で、児童に基礎的な知識・技能を習得させた上で、家庭生活をよりよくしようとする実践力を育むことを課題にしている。今年度、家庭科では調理実習が、「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが特に高い学習活動」として挙げられたため、調理実習を実施しなかった学校が多くあった。各校においてできる範囲で実践と研究を行った。

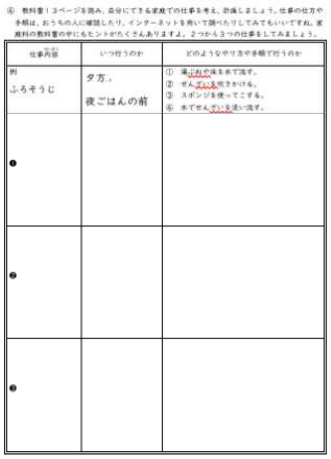
## ３　研究経過

研究テーマに沿って、各部員の勤務校において実践・研究を進めた。

## ４　研究の概要

「食」の分野については、調理実習が十分に行えなかったり制約が多かったりした中での実践であった。そのため各校で工夫して家庭と連携する方法を模索した。休校中は、家庭生活の見直しや家庭の仕事を実践する課題を設けるなど、家庭へ働きかける取り組みを行った。





## ５　今後の課題

今後も調理実習については、実施が難しい状況が続くことが予想される。密を避け、衛生安全に配慮しながら、児童に基礎的な知識・技能を習得させるための授業の在り方を研究していく必要を感じている。学校での知識・技能の定着と家庭で生かす実践を進めるためにできることを、具体的に考えていきたい。